



Narashino International Association

SQUARE スクエア

季刊会報

第 98 号

2012年6月1日

Narashino International Association (NIA)

平成
24年度
巻頭言

新世代は未来の夢・夢を素晴らしいかたちに

習志野市国際交流協会会長 崎山 征雄

本年度は国際交流協会設立 25 周年事業の年、新しい Quarter の始まりの年。未来を夢見て、夢をかたちにする年にしたいものです。そして未来を形作る担い手は新世代の若者です。我々は新世代と共に国際社会の中で知恵を持った実行力で、時代に適合したイノベーションを展開するときです。

国際交流の理念を難しく考え、話す方がよくいらっしゃいます。いわく、「私たちは固定観念、偏見を多かれ少なかれ持っており、それが地域規模、社会規模、世界規模で広がったものが地域間の紛争、世界規模での戦争へ繋がります」とか……。だから「広く世界平和の為に、日本と海外との架け橋になって、お互いの国の平和と友情を育む」とか……。かたや海外に行かれた方は、「もっと日本の文化や歴史、宗教を学んでおけばよかった」と、帰ってから改めて外国語を学び直す方が多いとも聞きます。

あえて定義をするならば、グローバルな人とは、海外の方々と一緒に様々なテーマで協同作業をできる人で、相手の話を聞き、自分の考えで説得できる人、日本の文化を理解し、他国の文化、宗教を理解し、多様性、論理的思考力、コミュニケーション能力を持つ、幅広い教養を身につけた方となります。

やさしく考えると、誰かが傷ついた時、それが自分の知り合いかどうかで自分が感じることの出来る、共有できる痛みの範囲が変わってきます。痛みでなく、喜びにしても同じことが言えます。知らない誰かの成功より、家族や友人の成功のほうが喜びを分かちやすいと思います。

となりの友人と仲よくすることと、海の向こうの友人と仲良くすることは同義語なのです。ただ隣の友人とはしょっちゅう触れ合えますが、海の向こうの友人とは簡単に触れ合えません。触れ合う機会を増やして、その時の刺激を好奇心にかえて、自分の事、相手の事を理解し協力する能力を学ぶきっかけを創ることから国際交流は始まります。

国際交流協会はそのきっかけ創りから、広く海外の国の事情を学び、相互の交流の場から友情を育み、お互いの文化をつなげる為にあるとも考えます。

これからも新世代を中心として「夢を素晴らしいかたちに」をテーマに、新たな友情の花を咲かせましょう。



平成 24 年度（2012 年度）総会報告

平成 24 年 5 月 20 日（日）にサンロード津田沼 6 階大会議室で平成 24 年度総会が開催されました。総会では、平成 23 年度事業結果及び平成 24 年度事業計画及び予算が審議され原案どおり承認されました。

〈平成 23 年度（2011 年度）決算〉

平成 23 年度決算額は、12,607,354 円で、執行率は 87.3%となりました。

これは、事務所運営費の減額及び事業運営の一部節減によるものです。

〈平成 24 年度（2012 年度）予算〉

平成 24 年度予算額は、15,508,000 円で、前年度に比べ 1,060,000 円の増となっております。増額の主なものは、協会設立 25 周年事業に係る経費となっております。

〈会則の改正〉

事業部会の名称改正（取組活動が判りやすい名称に変更しました。）

新名称

- 国際交流部会 （旧 姉妹都市部会）
- 文化交流部会 （旧 交流文化部会）
- 日本語教室部会 （旧 日本語語学部会）
- 外国人支援部会 （旧 通訳部会）
- 広報青年部会 （変更なし）

〈役員〉

平成 24 年度の役員は以下の方々です。任期は平成 25 年 5 月迄です。

役員	役職	氏名	備考
理事	会長	崎山 征雄	
理事	副会長	小川 臣朗	新任
理事	副会長	吉村 和就	
理事		金子 和弘	
理事		植草 満壽男	新任
理事		菊地 清	
理事		藤井 謙逸	
理事		小林 通成	
理事		平山 博己	
理事		飯田 裕一	
理事		長田 弘一	
理事		高村 久男	
理事		三代川 寿朗	
理事		大久保 龍樹	新任
理事	国際交流部会長	尾黒 治夫	新任
理事	文化交流部会長	吉田 武	
理事	日本語教室部会長	田中 芳恵	
理事	外国人支援部会長	山口 大二郎	
理事	広報青年部会長	高山 進三郎	
監事		長安 信明	
監事		川内 一彦	新任



平成 24 年度（2012 年度）事業予定表

詳細な日時等については、事前に事務局にお問い合わせください。なお、一部日時等の変更となる場合がありますので、ご了承ください。

月	開催日	行事等内容	参加対象
通 年 行 事	毎週月曜日	チャット de ALT	会 員
	毎週月曜日	梅花会	会 員
	毎月	英語交流会	会 員
	右記 月参照	フライデーサロン（4, 7, 10, 12, 2月の第3金曜日）	会 員
	右記 曜日参照	日本語教室：初級（月・水・木）、中級（月・水）、漢字（火）、小・中学生（土）	日 本 語 学 習 者
5 月	20 日（日）	総会、会員の集い	会 員
	5, 6, 7 月	春期語学講座（英語Ⅰ、英語Ⅱ、韓国語、中国語）	会 員 ・ 一 般
6 月	7 日	世界の家庭料理	会 員 ・ 一 般
	11, 13, 14 日	日本語教室（あすなる会：茶道教室）	日 本 語 学 習 者
	14 日～25 日	タスカルーサ市青少年受入事業	
7 月	上旬	日本語教室（七夕祭り）	日 本 語 学 習 者
	15 日	きらっと祭サンバ	会 員
	7, 9, 10 月	日本語教室（講師研修会）	日本語ボランティア
8 月	8, 9, 10, 11, 12 月	日本語ボランティア養成講座	会 員 ・ 一 般
		ブリスベーンからの訪問団との交流会	
9 月	上旬	世界の家庭料理	会 員 ・ 一 般
	9, 10, 11 月	秋期語学講座（英語Ⅰ、英語Ⅱ、韓国語、中国語）	会 員 ・ 一 般
10 月	6 日	設立 25 周年記念事業・ふれあい祭	会 員 ・ 一 般
	下旬	日本語教室（あすなる会：書道教室）	日 本 語 学 習 者
		日本語教室（スピーチ茶話会）	日 本 語 学 習 者
	29 日	千葉県連絡協議会	会 員
11 月		桜まつり俳句・絵画コンテスト募集	会 員 ・ 一 般
		日本語教室（講師親睦会）	日本語ボランティア
		文化講演会・ミニバスハイク	会 員 ・ 一 般
		日本語教室（あすなる会：房総太巻き寿司教室）	日 本 語 学 習 者
1 月		俳句コンテスト選句	会 員 ・ 一 般
	中旬	日本語教室（新年茶話会）	日 本 語 学 習 者
		世界の家庭料理	会 員 ・ 一 般
	1, 2, 3 月	冬期語学講座（英語Ⅰ、英語Ⅱ、韓国語、中国語）	会 員 ・ 一 般
2 月	下旬	日本語教室（あすなる会：折り紙教室）	日 本 語 学 習 者

※行事参加募集は、NIA のホームページでご案内します。この他、行事により、NIA 会報や広報習志野等での募集も行います。〈NIA ホームページアドレス <http://www.nia08.com/>〉

平成 24 年度（2012 年度）各部会活動計画

●国際交流部会●

国際交流部会は、姉妹都市タスカルーサ市をはじめ、その他の国や地域との友好を目的とした市民レベルの交流を行っています。6月14日より25日までのタスカルーサからの高校生12名の受け入れは、当部会の今年の大きな事業です。彼らの習志野市に滞在中のホストファミリーの募集や滞在日程の決定などすべてのことに関わっています。また8月には谷津干潟と水鳥に関する条約を結んでいるオーストラリアのブリズベン市からの訪問団との交流も予定しています。

昨年はタスカルーサ市との姉妹都市提携25周年を記念して、市民訪問団38名がタスカルーサ市を訪問しました。ドイツのショーンドルフ市、ガーナの snyani 市・タチマン市と共に四大大陸の市が一堂に会したこの記念すべき旅行も国際交流部会が中心となり進めた交流行事でした。次のタスカルーサ市への市民訪問団派遣は4年後の姉妹都市提携30周年です。多くの会員・市民の皆様の参加を期待しております。

毎年3月にタスカルーサ市で開催される「さくら祭り」の絵画コンテスト・俳句コンテストに協力して、習志野市在住の学校や市民の方々に作品の応募を呼び掛けるのも国際交流部会の役割です。毎回多くの方々のご協力をいただき素晴らしい作品を送ることができ、「さくら祭り」に習志野から花を添えてきました。絵画コンテストでも毎年入賞者を出しています。

年10回ほど開かれる国際交流部会では、毎回NIAや部会の主宰する交流行事をより楽しくする様々な意見や提案がなされます。また部会の後は、スナックをつまみながらのチャット・タイムで最後は皆ハッピーな笑顔で散会となります。部会のモットーは、あ（明るく）か（賢く）さ（さわやかで）た（楽しい）な（仲間）です。一見客も大歓迎です。会員の皆様のお越しをお待ちしております。

●文化交流部会●

そもそも交流とは、人々が同じ目的で同じ場所に集まり、互いの考えや文化を交換する場や行為を意味します。そこには交流する人の新しい発見と喜びがあります。

文化交流部会では、今年も会員や一般市民と共に楽しみ、互いの考えを共有出来る事業を展開していきます。バスハイクは、一同に会した会員や一般市民が新しい発見と出会いを求める人気のツアーです。文化講演会は、会員や市民が最も関心がありタイムリーなテーマを厳選し、参加者全員で考える講演会です。「世界の料理」では協会の特性を生かし、各国の会員の協力で普段体験できない世界のレシピに出会うことができます。「習志野市きらっと祭り」のサンパパレードには、毎年国際色豊かなファッションで外国人と共に参加しています。

ふれあい祭は、協会の各部会の横断的事业であり、年間の総括的な事業です。これこそ会員、市民の皆様が一体の下、音楽、ダンス、展示など国際色豊かなプログラムを通じて、国際交流協会の活動を外部に発信する重要なメディアとしての役割を果たしています。

「会員の集い」は、毎年総会終了後、日頃お会いできない会員の方々が参集し、お互いの意見や情報交換をする、楽しく且つ意味のある場となっています。

このように文化交流部会では、市民の目線でプログラムを構成し、常に会員の皆様とご一緒に考える活動を第一義的に考えております。限られた予算ですが皆様の貴重なご意見やアイデアをお待ちしております。

●日本語教室部会●

今年度から日本語教室部会と名称は変わりましたが、例年通りの活動を地道に続けます。

日本語の勉強をしたい外国人の方への支援として、マンツーマンで月曜・水曜の午前と木曜夜に成人のための教室、土曜日午前に小中学生のための教室（成人についても昨年からの相談にのっています）、火曜日午前にグループで漢字教室を毎年開きます。

この教室では、日本語を学習するだけでなく、日本の文化や習慣を知っていただくために、「新年茶話会」「七夕まつり」をします。また日頃の日本語学習の成果を発表しながらコミュニケーションを図るため「スピーチ茶話会」をします。日本文化の体験学習として、書道、房総太巻き寿司、茶道、折り

紙を希望者に参加して貰います。昨年度からはじまった毎月発行の「ふれあい掲示板NEWS」も好評です。ここでは日本語教室部会や協会の活動を紹介するばかりでなく、学習者を写真入りで紹介しています。生きた教材としても活用できますし、学習者のご家族にも教室のこと協会のことを知っていただけたと思っています。

今年度は現在活動している日本語学習支援ボランティアのための研修会も日数を増やし、3日となりました。ますます熱気こもった教室となっていくことでしょう。さらに、新しい日本語ボランティアの育成と人材確保を目的に、8月末から16回にわたる日本語ボランティア養成講座を開講します。「みんなの日本語・初級Ⅰ・Ⅱ」を使い、日本語の教え方だけでなく、ボランティア活動とはどんなことをするのかといった疑問にもお答えします。新しいなまを迎えて、にぎやかで楽しく、学習者にもボランティアにも充実した活動をしたいと思っています。

●外国人支援部会●

通訳部会は市の要請を受けて、習志野市在住で、市の窓口手続きや日常生活で言語の困難をきたしている外国人に対し、通訳で便宜を図るのを主な活動にしています。

習志野市在住の外国人の数は3000人を越えています。市から送られてくる日本語の連絡事項、申請手続きの書類内容を理解するのは難しいことです。特にゴミ出しはルールを理解しないために住民との間でトラブルを起こすことがあります。ゴミの出し方、公共施設の使用法、ドメスティックバイオレンス、駐輪場の案内など、日常生活に必要なルールを理解してもらう事は大変重要です。通訳部会はそれらの内容を中国語、韓国語、英語、スペイン語、タガログ語に翻訳しています。

コミュニケーションの面では姉妹都市タスカルーサ市より派遣されたALTと住民との国際交流の場を設営し、英語力向上、異文化交流に取り組んでいます。毎月曜日4時からChat de ALTを開催し、幅広いテーマを英語で話し合います。他に不定期ではありますが、ネイティブスピーカーを3人招待しディスカッションをしています。会員との交流は姉妹都市部会と協力して2か月ごとに外国人を招き、フライデイ・サロンを実施しています。国際色豊かな季節のイベントを入れることもあり、いつも楽しい雰囲気です。

昨年8月、姉妹都市25周年記念市民訪問団はタスカルーサ市を訪問しました。今年はタスカルーサ市より高校生12人と2名の引率者が6月14日に訪習し12日間滞在します。滞在中のホストファミリーの手配、習志野市の施設、東京及び近郊の見学先、富士吉田での研修プログラム作成、アテンドや案内など協会一丸になって取り組んでいます。

今年度からは通訳部会は外国人支援活動を加え、名称を「外国人支援部会」と改めます。災害時における在住外国人の支援として、市の要請による災害緊急時避難情報ネットワーク作りや無料生活相談など、生活支援の行政業務を通訳、翻訳を通して手助けしていきます。

●広報青年部会●

広報青年部会では、会員並びに習志野市民の皆様、並びにNIAの活動状況をお知らせする広報活動と、習志野市の青少年と市内の大学等に集う外国人留学生による交流活動を行っています。

広報活動は、主に会報「スクウェア」を年に4回発行、ホームページを月2回更新して、NIAのイベントや各部会の活動を報告しています。また市内の催しに参加してNIAのPRも行います。「スクウェア」は市内の公民館、図書館等の公共機関に置かれ、また学校を通して市内の小中学生、また高校生にも配布しています。

青少年による交流活動は、現在「NI-Youth」という組織で、「虹色の世界を、みる、しる、描く」をビジョンに、特に10代～20代の若者自らで企画・運営しています。いろいろな場を通じて異文化に触れて互いに理解し合い、自己研鑽しながらこれからの国際人としての資質の向上を目指しています。活動を始めて2年目ですが、昨年度は月1回の定例会のほかに「夏の懇親会」「クリスマス会」等を行いました。今年度は6月に習志野市を訪れる「タスカルーサ市青少年訪問団」との交流行事にも参加します。

広報部会、NI-Youthともに習志野市市民の皆様、並びにNIA会員の皆様の参加お待ちしております。NI-Youthは若い方の参加を求めており、定例会は出来るだけ参加し易いように夜の集まりとしています。活動に興味をお持ちの方、およびお問い合わせはメールアドレス nia@seaple.ne.jp 又は電話/FAX:047-452-2650 NI-Youth <http://sites.google.com/site/niyouth000/>

アラバマ大学さくら祭り

2012 俳句 絵画 コンテスト入賞者



毎年3月に、タスカルーサ市で「さくら祭り」が開催されます。国際交流協会では今年も市民の方々にスクウェアを通じて「俳句コンテスト」と「絵画コンテスト」への参加を呼びかけました。

今年の「さくら祭り」のテーマは「reliance（信頼）」でした。このテーマで俳句を募集したところ、小学生低学年から成人までの4部門で計776句の応募がありました。

その中から姉妹都市部会の俳句選者を中心として約50句を選句し、アラバマ大学に送付したところ、

7名の方が入賞されました。

絵画コンテストは「Youth as the Catalyst for Change（世界の幸せは若者の手で！～いかに若さが世界をより良くできるか～）」が課題でした。

昨年末に習志野市にある4高校の美術部のかたに参加ご協力をお願いしたところ、習志野高校から5点の作品の応募をいただきました。いずれもテーマに沿った素晴らしい作品で、コンテストの結果3名の方が入賞されました。

俳句コンテスト 受賞者と作品



成人の部：

1位 佐藤^{しずこ}俊子
再会の手の温もりよ花衣
Dressed up for cherry blossom viewing,
we are reunited. I feel the warmth of my
friend's hands.

2位 宮崎雄次
白鳥の番の水輪寄り添ひて
A pair of swans are followed by two
water rings that ripple side by side.

中高生の部：

該当者無し

小4-6の部：

1位 沖山瀬菜
水たまりこすときのびる母のうで
Just when I jump over a pool of water,
my mom's arms stretch toward me.

2位 久保田優菜
一輪車友情ふかまるつないだ手
Unicycle riders: Their friendship deepens
while they hold each other's hands.

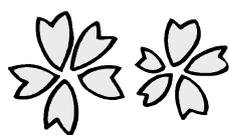
3位 高橋美幸
しんさいでできたきずなはわすれない
We will never forget the bond we have
with those who helped us after
the earthquake disaster.

小1-3の部：

1位 津田光基
サッカーでパスをまわして助け合う
In a soccer game, we pass the ball around
and help one another for a victory.

2位 金内詠太
知らないこあそんでみればともだちさ
A stranger: Let's play with him and
he will become our friend.

絵画コンテスト 受賞者と作品



1位 ^{きま}儀間 ^{ちあき}千彬 習志野高等学校
 作品の副題「犠牲と平和」(Peace and Victim)



2位 ^{かほ}田崎 香穂 習志野高等学校
 「小さな温もり」(Little Warmth)



佳作 荒井枝里子 習志野高等学校
 「語り継ぐこと」(Generation to Generation)

◆タスカルーサ市青少年訪問団が6月に来日◆ —— ご参加ください (6/15)

日程 (予定)

月 日	曜	日 程
6月14日	木	来日、サンロード津田沼到着、歓迎式、ホストファミリーと対面
15日	金	歓迎レセプション (午前11:00～午後13:00)、ショッピング&見学
16日	土	相撲部屋見学、スポーツ交流 (NI-YOUTH 担当)
17日	日	ホストファミリーと過ごす
18日	月	東京見学
19日	火	富士吉田青年の家 宿泊交流
20日	水	富士吉田青年の家 宿泊交流
21日	木	習志野高校交流 (午前9:00～午後4:30)
22日	金	習志野高校交流 (午前9:00～午後4:30)
23日	土	市施設見学、文化体験
24日	日	ホストファミリーと過ごす
25日	月	送別式

みなさんとお会いするのを楽しみにしています。



25周年記念行事参加のお誘い

文化交流部会 吉田 武

習志野市国際交流協会は、設立 25 周年を迎えることになりました。25 年は四半世紀ですが、人間で言えば二十歳を過ぎたばかりとは言え、習志野市国際交流協会の 25 年の歩みは重みのあるものです。

設立当初の先輩諸氏の努力は如何ばかりかと察します。25 周年を大きな節目と考え、10 月 6 日(土)に Moriシア小ホールにて記念行事を実施いたします。25 年の歩みを皆様に知っていただき報告する貴重な機会です。同時に Moriシアセンターコートでパネル展示にて 25 年の歩みを紐解きます。

記念事業では記念講演会も行い、市民及び会員の皆様と習志野市国際交流協会の在り方をご一緒に考えて行く所存です。これを機会に協会活動について忌憚のないご意見、アイデアをお寄せください。



平成 24 年度 日本語ボランティア養成講座開講のご案内

在住外国人に日本語学習支援活動をしていただく、日本語ボランティア養成講座への受講生を募集いたします。

- 【期 間】** 8 月 30 日～12 月 13 日毎週木曜日
全 16 回
但し 10 月 25 日(木)は、10 月 29 日(月)とします。
- 【時 間】** 午前 9 時 30 分～午後 12 時 30 分(3 時間)
- 【会 場】** サンロード津田沼 6 階大会議室
(京成津田沼駅ビル)
- 【定 員】** 20 名
(定員に達しない時は開講しない場合あり)
- 【受講料】** 11,000 円(テキスト代 9,450 円別途)
- 【講 師】** 松本明子先生(元城西大学講師)
- 【対 象】** 養成講座終了後、習志野市国際交流協会に入会し日本語ボランティアとして活動できる方。なお、現在行っている日本語教室の曜日と時間は次の通りです。

- 月・水曜日 (成人) 午前 10 時～11 時 30 分
木曜日 (成人) 午後 6 時～8 時 30 分の間の
90 分
土曜日 (小・中学生) 午前 10 時～11 時 30 分
- 【申込み】** 7 月 2 日(月)までに習志野市国際交流協会事務局へ(サンロード 4 階)
TEL 047(452)2650
Eメール nia@seaple.ne.jp

新事務局長紹介

山崎和男さん

—— 着任されたばかり(4 月中旬時点)ですが、いかがですか?

「まだまだ手探り状態で、ここのパソコンにもやっと慣れたところです」

—— 会員のかたの顔や名前も?

「日本語教室のかたをはじめ、よく来られるかたは、みなさん熱心ですね」

—— 今、どんなことを?

「昔の書類を調べながら、理事会の資料作りや、市との手続きなどに追われています」

—— これまでは何をされていたんですか?

「去年退職しましたが、ずっと公務員でした。そのあいだ多くは市の議会事務局で議員と一緒に議会運営の仕事をしていました。そのほか総務、人事にも携わりました」

—— 外国語はお得意ですか?

「いや全然ダメです」

—— お休みの日はどう過ごされていますか?

「ウォーキングですね。3 年前からですが、4～5 km ぐらい。よく眠れるんです」

—— これからの抱負を聞かせてください。

「組織が新しくなりますし、2 人の女性職員と一緒に、まずは事務局の円滑な運営を心掛けたいです」

スクウェア 第 98 号

発行 2012 年 6 月 1 日

習志野市国際交流協会

発行責任者 崎山 征雄
編集責任者 高山 進三郎

〒275-0016
千葉県習志野市津田沼 5-12-12
サンロード津田沼 4 F
TEL/FAX 047-452-2650

<http://www.nia08.com/>
<Eメール> nia@seaple.ne.jp